

## 第32回全国M式水耕技術研究大会を開催して(その1)

(社長 村井智子)

第32回全国M式水耕技術研究大会は、M式の本拠地である名古屋(名鉄ニューグランドホテル)を会場とし、10月6日(土)・7日(日)の両日に開催いたしました。

今回は、全国M式水耕研究会新会長水谷俊樹様を中心に、5年ぶりにM式に戻ってきたM式水耕研究所会長村井邦彦と新社長村井智子という新しい体制の元で行う初め

での研究大会でした。

「元気ですか?」「前向きなライフですか?」そして「再び青春を!そんな気持ちで時代を読む経営をしよう!」との会長の呼びかけのもと、テーマ「水耕野菜の未来と販売戦略」を掲げてこの研究大会を開催いたしました。

全国から農業者の方40名、弊社の取引先業者15名、M式水耕研

究所の職員など18名が参加しました。10月の行事の多い時期とも重なって出席できなかったという方もおられたようですが、そんな中にもかかわらず遠くからご参加くださりまことにありがとうございました。まずは、ご参加くださることがなにより大切であると思っておりますので、とてもうれしいことでした。

### <表彰と事例報告>

今回の表彰はM式水耕研究会長賞に愛知県春日井市のファーム毛利毛利重隆様、M式水耕研究所社長賞に東京都の株式会社パソナパソナO2様でした。毛利様は、脱サラでサンチュを始められ、全量契約販売で安定した売り上げを確保するための努力、パート雇用の大切さを感じ、労

働条件確認書を作り、やりがいをもって働ける環境づくりに気を配っていることなど発表されました。とても実直さと経営に対するポリシーが伺えて参考になる話であったと思います。

パソナO2担当の板見さやか様は、都心のオフィス街にあるビル地下で人工光源の農場を建設、新しい農業

の形を「見る」「香る」「触る」「食する」「学ぶ」ことから多くの人たちに知ってもらう情報発信基地として、また、農業分野での人材確保のための支援施設であるという事例を報告されました。M式水耕の幅広い分野への活躍の一端を知ることができ、意を強く持ちました。



### <講演>

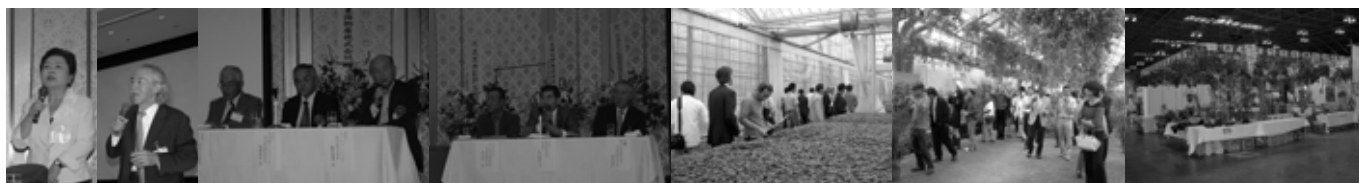
「ブーケレタスの販売戦略」と題して有限会社葉っぱ代表取締役野本一弘様のご講演をいただきました。野本様は、いかつい体(失礼!)に似合わず、静かに自分の思いを語りかけるように話され、非常に重みのある内容に感銘を受けました。

話の内容は、ここでは紹介しきれませんが、自分の作っているものがどの店でどのように売られているか、

知っていますか?という問いかけにハッとしたり、水耕野菜だからできるという安全性へのアピールに、意を強くしたり、食べてもらう、知ってもらうための商品説明と熱意が消費者を動かすというマネキンスタッフの取り組みに、我々に欠けている部分だよねーと感心したり、ブーケレタスの価値を高め、いつまでも高級品としての販売戦略の話に納得できました。その他、生産部門と販売

部門と分離させたこと、生産部門の葉っぱやグループ(11人)を組織しており、今後の取り組みには、こうしたグループ化とグループ力による全国展開が必要であり、もっと輪を広げていく意気込みを話され、今後の方向を示唆されました。野本様の幅広い情報収集力と営業力のすばらしさを感じた講演でした。

(以降次号に続く)



#### <パネルディスカッション>

当社は、今年の大きな目標に「活菜生活」を掲げております。その「活菜生活を売り込め」とプレゼンテーションを行い、流通業者、野菜取り扱い業者、種苗関係、生産者の方々からのご意見をいただき、M式ブランドしての価値のある野菜の販売戦略について皆様方と一緒に考えたいと計画いたしました。村井会長は、生命、健康産業としての使命ある立場から「活菜生活」に対しては並々ならぬ思

いと自信があります。プレゼンテーションは、時間も無く未消化で終わってしまいましたが、M式たより(8月号)、全国研究大会資料を見ていただければわかっていただけるとの思います。パネルディスカッションは、前当社社長であった村井信二様の軽快なコーディネートで和やかな雰囲気の中で意見交換がされました。安全で新鮮な野菜を消費者に届けることは基本で、輸送コストをかけない、地産地消型生産流通システム

が必要であると感じました。そのためには生産者のグループ化を進め、新しい流通革命といえるシステム作りが今後の大きな課題であると思います。そして、安全な野菜づくりのための栽培技術や病害虫への対応技術の確立、新品種、新食品への開発や取り組みがより消費者への満足度を高めた、水耕野菜だからこそできる安心、新鮮、きれいな野菜で価値の高い野菜づくりにつながると確信いたしました。

#### <見学会>

2日目は、生産現場などの見学を行いました。当社の研究農場、研究会会長水谷様の三つ葉農場、三重県長島町なばなの里のペコニアガーデンを見学し、最後に愛知県農林水産フェアの会場に行き、当社の展示(活菜・おふくろさん)や愛知県内の特産品の数々を見ていただきました。実際に目で見て自分で確かめられたこと、新しい情報が得られたことなどそれぞれに何かを得られたのではないかと思います。こうして2日間の研究大会日程は無事終えたわけですが、参加していただいた皆様はどのように感じられた

でしょうか?これからの進め方にも反映させたいと思いますのでどうぞ忌憚の無いご意見、ご感想をお聞かせください。

私は、研究大会を企画し、参加するのは初めての経験でしたので、皆様方との出会い、ふれあいはとても貴重な時間であり刺激を受けることができました。しかし、技術研究大会にしては、新しい技術、革新的な技術などを期待されて出席された方は少々物足りなさを感じるものではなかったかと危惧しております。ただ、時代を読み、時流をいち早くつかみとり、1歩も2歩も前へ出るための経営戦略としてのヒントは、い

たるところにあったのではないかと考えております。水耕野菜を生産し、販売をしている仲間が一同に集まり、情報を共有し、話し合うことの大切さをこれからの時代だからこそより求められると思うのです。どうぞこのような機会にぜひ皆様と話し合い、同じ方向に向かって行動できるような研究会にしていこうではありませんか。参加された皆様方、応援していただいた方々、Mグループの皆様方本当にありがとうございました。お互いに「元氣」でがんばっていきましょう!